

## ボランティアの先生を紹介します

VOL  
22

岩淵桂子 先生

先生は、本校では低学年児童の学習指導と見守りを中心にボランティア活動をしております。本校でのボランティア経験はまだ浅い先生ですが、どんな時においても子どもの個性を尊重した柔軟な支援ぶりです。子どもの置かれている状況を理解しての穏やかな支援からは先生の人柄が垣間見られます。

そんな先生に対して心を許す子どもが徐々に増えており、先生の今後の活躍が周囲から期待されております。

趣味は読書。町田市出身、横浜市都筑区在住、60歳代

## こんな事をします（活動計画）

### ●恒例のお花見会を実施

本校、設立以来の家族親睦行事のお花見会が今年も十日市場公園で開催されます。当日は子どもも交えて家族単位での交流で子ども理解と親睦を深めます。

### ●社会科見学

本年の社会科見学は国会と警視庁に決定しました。目的は政治、文化の中心である首都東京を理解することのほかに公共施設や交通機関におけるマナーの習得にあります。ひまわりの各活動には常にソーシャルスキルトレーニングが組み込まれております。

### ●芸術鑑賞会

青葉区のあざみロータリークラブ様の主催する「震災復興支援コンサート」にご招待をいただきました。このコンサートを「芸術鑑賞会」として希望する子どもと保護者に出席を呼び掛けました。

## ひまわりの現況

開校日：月・水・金・土 / 9時～14時30分

生徒数：(約)60名 / 支援者数：(約)20名

時程：9時開門(学習)、12時10分昼食(食後レク)、12時55分(校長タイム)、

1時20分(フィールドタイム)、2時半(帰りの会)(下校)

通信制：ゲームから教科学習までひまわり目線の指導

## ボランティア募集

子どもの見守り、学習指導、学校事務など。週一回以上勤務可能な方を特に求めています。

\*ご質問・見学・ボランティアご希望の方は、渡辺(090-9201-3992)までお気軽にお問い合わせください。最新情報はホームページ <http://himawari-school.jp/> と Facebook にてアップデートしています。

ボランティアスクール  
「横浜みどりの学校ひまわり」



# ふれあい

学校だより 2024年3月号 No.64

こんな学校があってもいいかも  
(既存の教育にとらわれない学校)

ひまわりは、さつきが丘小学校の元校長が開設した全員が手弁当のボランティアスクール(私塾)です。「公立学校で苦戦する子どもたちを公立学校ではできない手法で支援する」「地域の子どもは地域で育てる」「金のかからない教育」などを掲げて、13年前に開設されました。

## 教育の苦悩とカサンドラ症候群

校長 渡辺 正彦

元旦の震災から早くも三月が経ち、季節は春の4月を迎えました。学校は新たな年度のスタートになります。子ども達も新たな出発に胸をときめかす季節です。

他方で、この時期に公立学校の校長や先生から本校に対して自校の子どもの紹介が数多くあります。保護者からも学校で本校の存在を知らされたという問い合わせが相次ぎます。公立学校が本校のような小さな私塾に自校の子どもの紹介するなど一昔前では考えられない現象です。

紹介される子ども達の多くは、①学力優秀、②人間関係苦手、③五感が過敏、④完璧主義などの特性があります。子ども達は、その特性ゆえに既存の学校に通うことに苦痛を感じるのです。明治の学制発布以来の伝統的な日本の教育の中にありながらも最近の各学校は、「別室登校」や「放課後指導」など個に合った柔軟な指導をしているようですが、「学校への行き渋り」や「不登校」の子ども達の改善率は至って低迷のようです。現代の教育においてこのような子ども達の支援は大きな課題であり、教育現場の苦悩でもあると思います。

教育現場の苦悩は、家庭においても同じであり、子育てや教育の場面での保護者の苦悩は尽きません。家庭内での我が子との行き違いや子育ての悩みから保護者自身が鬱状態になるカサンドラ症候群も見られます。

特性を持ちながらも成人になり大手企業に就職した方からこんなことを聞きました。その職場は、広いスペースに数十人が一同に会して仕事をしておりました。正月休みを終えての出動時に彼は、深刻な悩みに直面しました。それは、新年の挨拶をどの範囲までの人にしたらよいかという悩みでした。それを考えると前夜から憂鬱になったそうです。真面目、几帳面であるとともに「臨機応変力」の欠如でもあります。

本校の子どもの中にも「まあいいや」や「適当」と言った「ファジー」が許せない子どもが多く存在します。算数の計算は得意だが、国語の学習で登場人物の心情を読み取るのが苦手な子どもも多く存在します。

本校では、子どもそれぞれの特性を見極めて、その特性を生かす指導をすると共に家族がカサンドラ症候群に陥らないように家族支換も大きな柱にしております。

# 小さな卒業式

ひまわり「小さな卒業式」が挙行されました

小さなフリースクールの「小さな卒業式」が、3月23日（土）に横浜市青葉区のしらとり台自治会館で行われました。卒業生は小学校、中学校合わせて9名ですが多人数が苦手な子どもには、別の方法で卒業証の授与を行いました。当日は、地元さつきが丘小学校の仲川校長先生をはじめ自治会長様、商店会長様など日頃から本校の活動を支援してくださっている多くの皆様にご出席くださいました。「小さくも温かな卒業式」は学校に行けない子ども達にとって、きっと生涯の思い出に残ることでしょう。



こんなことしました！  
(活動報告)

## フィールド活動

ソーシャルスキルトレーニング（社会性の構築訓練）の一環として毎日、野外で運動などの活動をしております。小学生と中学生が混じった活動では、中学生がリーダー役になります。始まりと終わりには全員で話し合いをします。



## ふれあいレストラン

月一回の「ひまわりふれあいレストラン」では、子どもシェフも出現します。時には、男子中学生達も飛び入りで小学生シェフに助太刀をします。

## 学習支援に熱がはいります

不登校の子ども達にとっての心配は学力の定着です。一定期間居場所として本校に通学した子ども達の多くが自分から学習支援を申し出てきます。本校の学習支援は、「ひまわり学園」「プレスクール」「自主学习」「オンライン学習」と子どもの実情に合わせてコースが設定されます。

